



南側と北側それぞれにエレベーターを設置。乗り込んだ時に正面奥の扉が、降りる時の出口になるので、車椅子の方も方向転換せずに移動することができます



◀北側の出入り口。階段の両脇に上りと下りのエスカレーターが設置されています



橋上化されているJR手稲駅と自由通路「あいくる」
(駅の東側の花畔^{ほんなぐろ}人道橋から撮影)

橋上化された駅舎の出入り口となる自由通路は幅二十メートル、長さは南北五十メートルにも及びます。

自由通路の愛称は「あいくる」。「出会い」、「愛くるしい」、「来る」などの意味が込められたこの愛称は、区民の皆さんに親しみを持って呼んでもらえるようにと、昨年、公募で付けられました。

「あいくる」には、南北それぞれにエレベーターやエスカレーターを設けています。また、スロープや体の不自由な方用のトイレなどを設置し、誰もが気持ち良く気軽に利用できるようにしました。

一面ガラス張りの壁と、天井の窓からは太陽の光がいっぱい降り注ぎます。明るくて開放的な「あいくる」は、行き交う人々、ベンチでくつろぎながらおしゃべりをしている人々の笑顔と活気があふれる空間です。

また、「あいくる」には、多目的広場を設けました。今後、さまざまなイベントや展示会などで利用され、大いににぎわうことでしょう。

広場中央にあるのは、「あいくる」のシンボル・モニュメント「雪だるまをつくる人」。親子で一緒に雪だるまを作っている様子がかたどっているモニュメントは、



天窓と壁一面のガラスから明るい光が差し込む「あいくる」広場